

先月、大河原町議会6月定例会のなかで、平成28年度一般会計補正予算が可決され、「歩きたくなるまち」事業関連の事業費が認められました。

歩くことを主とした運動をお勧めし、健康増進に役立てる事業を計画していますので、本年度の事業内容をご紹介します。

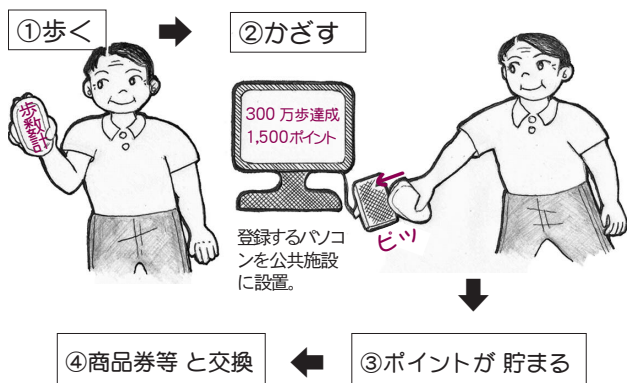
現在のところの方向性としていますが、詳細については「歩きたくなるまち」創造事業プロジェクトチームで企画立案し、再度ご紹介します。



「歩きたくなるまち」事業(案)紹介

来年3月ごろ▶歩いて健幸システム開始

歩数計(万歩計)を記録するシステムを導入し、ウォーキングの継続を支援します。1日8,000歩、1か月25万歩、1年300万歩など目標を掲げながら、歩数にポイントをつけ、年の歩数目標達成時には、商品券等とポイント交換ができる仕組みを予定しています。



◎健康ポイント事業は、歩いた歩数をポイントにしたり、運動教室に参加するとポイントがつくなど、健康に向けた活動にポイントをつけ、ポイントが貯まったら商品券や地場産品などと交換ができるもので、全国的に、実施しているところが増えていきます。住民の健康寿命が延び、生きがいのある暮らしができるように健康に向けた活動を支援するとともに、医療費等を抑え、社会保障費の伸びを抑えることを目的として実施されています。

9月～11月ごろ▶運動啓発事業

町内の史跡を巡りながら歩く教室やノルディックウォークを体験する教室、歩いて町内一周をするイベントなどを進めていきます。



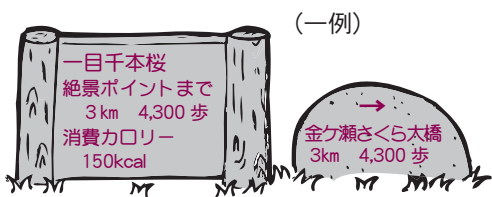
来年2月ごろ▶ウォーキングマップ作成・配布

町内のウォーキングコースで3kmコース、5kmコースなど推奨コースを設定。また、史跡めぐりコースや観光コースなどを設定し、町内の見どころも入れながらウォーキングマップを作成します。



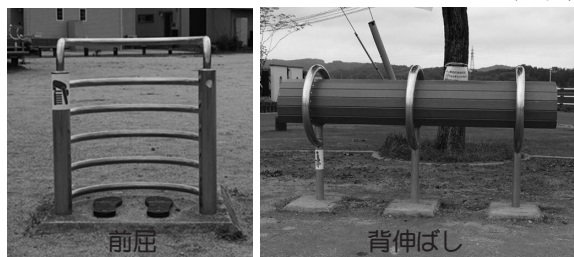
来年2月ごろ▶ウォーキングコース誘導サイン等設置

ウォーキングコース5kmコースなど推奨するコース誘導サイン等を設置します。ここから目的地まで何kmで何千歩、何キロカロリーの消費などの表示を考えていきます。



来年2月ごろ▶公園内健康遊具設置

ウォーキングコースの途中で公園に寄り、柔軟体操やストレッチなど健康遊具を活用できるように設置を進めていきます。(一例)



※先月号「健幸都市おおがわら」の推計30年後の本町の姿で、2015年の人口に誤りがありました。全体人口 誤:23,530人→正:23,768人、年少人口 誤:3,398人→正:3,329人、生産年齢人口 誤:14,920人→正:14,575人でした。訂正してお詫びいたします。